

カナリヤ通信



第34号

「カナリヤ通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

～働き方について考え、気づく～

「介護制度(介護と仕事の両立)」について独自策があれば教えてください

- A. 育児・介護休業規定改定**
 介護休業の規定ができたのは1998年7月1日、2017年1月1日に介護離職を防止し、仕事と介護の両立を可能とするため、5つの内容を改定。
- ①介護休業分割取得の拡大：対象家族1人につき、3回を上限として、通算93日まで(原則1回から3回へ変更)
 - ②介護休暇の半日単位の取得(1日単位から半日単位へ変更)
 - ③所定労働時間の短縮措置等：介護休業とは別に、利用開始から3年の間で2回以上の利用を可能(介護休業の日数に含まれていたものが、別の期間で取得が可能に変更)
 - ④所定外労働の免除：介護終了までの期間について請求することのできる権利として新設
 - ⑤有期契約労働者の介護休業取得要件を緩和

- B. テレワーク制度**
 テレワーク利用申請に基づき、在宅勤務を認める制度。利用要件は、在宅勤務に合理的な理由がある者、適切に時間管理ができる者のいずれかで、事業部長・センター長・統括部長及び総務・人事部長が承認した者とする。利用頻度は、週4日までを上限とする。

- C. カムバック・エントリー制度**
 退職理由が結婚、出産、育児、介護、私傷病、配偶者の転勤のいずれかで、退職時に3年以上在籍、退職後の離職期間が5年以内である人を対象とするカムバック・エントリー制度を新設、運用規定を2017年10月1日に制定。退職理由が解消し、改めて当社に就労を希望した場合の受付窓口を広げるため、退職時に将来再雇用を希望する者カムバック・エントリー制度の登録を行い、登録者へ優先して求人情報の提供を行うもの。

- 応**
- ・在宅勤務制度
 - ・有給休暇の時間単位取得
 - ・ジョブリターン制度
- 3つの条件を満たして登録することで、優先的にOYOグループ内の採用情報を提供する、というもの。条件は
- ①退職理由が結婚、出産、育児、介護、私傷病、配偶者の転勤のいずれかであること
 - ②退職時に3年以上の在籍期間があり、業績評価が良好であること
 - ③円満退社であること

- 建**
- ・介護休業期間は通算して365日まで
 - ・介護を理由とした在宅勤務制度がある

- 大** 介護サポートプログラム(人事担当・本人・上司の3者面談)

- 戸**
- ・フレックスタイム制の活用(日々の勤務時間の調整、遠距離の場合の週末帰省)
 - ・介護を理由とする全国型総合職からエリア総合職へのコース変更の利用
 - ・介護終了後に復職を可能とするジョブリターン制度の活用

- 某** 介護を経済的に支援するための、無利子の貸付制度を制定した。また、要介護者の居住地に近い地域への支社転勤も、可能な範囲で許諾している。

わたしたちにとって、介護は切実な問題になりつつあります。しかし、実際には社員が介護を行っているかどうかわからないケースも多く、実体がかまえていない企業も多いのではないのでしょうか。国は仕事と介護の両立支援に舵を切っており、さまざまなサービスや支援が受けられるようになっていきます。しかし、制度があっても活用しなければサービスも支援も届きません。今回は、6社に介護制度についての取り組みをアンケート形式で聞きました。各社独自の施策もあり、離職を減らし両立させるための参考になるのではないのでしょうか。



介護制度 わが社の取り組み

介護休業の取得者

- ア** アジア航測 1人(直近1年間) **応** 応用地質 0人 **大** 大成建設 3人
建 建設技術研究所 1人 **戸** 戸田建設 2人(2017年度) **某** 某設計会社 1人

介護について研修や情報提供等を行っていますか?

- はい **ア 建 戸 大** いいえ **応 某**

介護についての研修や情報提供等の具体的な内容

- ア** 健保組合が実施する「介護・健康教室」について、参加者を社内イントラネットで募集
- 建** 介護対応に関するDVD視聴会の開催
 当社オリジナルの介護対応支援ブックを作成し、全社員へ配布
- 大** 人事担当者向け研修
 人事担当者の社外研修への派遣
 介護セミナー(社員、作業所配属者 ※当社社員であることを問わない)
 冊子の配布(40才以上の社員)
- 戸** ホームページでの情報公開
 福利厚生サービスを活用しての相談窓口設置

介護と仕事の両立について会社側から見て何が課題だと思いますか?

- ア** 介護を理由とした就労形態・業務量等の相談をしやすい環境、所属部門での協力体制(理解向上)については、職場環境を整備していく中で継続して構築していく必要があると考える
- 応** 育児は先が読めるが、介護は先が読めないところ
- 建** 介護と仕事を両立している社員の実態が把握できていないので、具体的な支援策を講じにくいこと
- 大**
- ・介護していることを打ち明けられる社内風土の醸成
 - ・早い段階での介護基礎知識を得て、できる準備をするという心構えを社員自身もつこと
- 戸**
- ・離職防止に繋げる制度策定による人件費の増加
 - ・柔軟な人材配置(休業期間)
 - ・両立に役立つタイムリーな情報提供
- 某**
- ①テレワーク
 - ②勤務地が被介護者居住地に近くなること
 - ③時短勤務
- ①～③の制度について整備を行うことが課題

環境整え離職を減らす

今回は9月12日付です。テーマは「夏のリコチャレ2018」です。

学生のための建設産業体験イベント

わたしの住むまちをデザインする仕事

中学生～大学生 誰でも参加OK!

巨大災害に立ち向かう姿

暮らしの中にある技術紹介

女性の活躍を支える団体等

8/9(木) 10:00-17:30

会場: 日本大学理工学部 駿河台校舎1号館5、6階

子どもから大人まで楽しめるイベントです。来場をお待ちしています。

自分で自分を誉められる仕事を

TDK技術・知財本部 材料開発センター 武田 早織さん

わたしは電子部品の開発を行っています。電子部品は普段目にすることはありませんが、スマートフォン、テレビ、車などあらゆる電気機器に搭載されており、実は身近な存在です。その中にはセラミック製の電子部品も多数あります。わたしは自分が携わった商品を世に出すことを夢見て専攻のセラミックを生かした仕事に就きました。実際に自分が開発に携わった電子部品が製品化され、新聞に取り上げられた時には本当に嬉しく思いました。また、開発業務は製品化するこ

とだけではなく特許を出願することも大事です。他社よりも早く新しい発明を特許化して権利を有利に使えるようにすることが重要です。国内に留まらず欧米、アジアでも特許登録しています。特許登録には審査があります。苦渋して審査を通り、特許登録された時はとても充実した気持ちになります。仕事はうまくいかない時もあり落ち込むこともありますが、その時は自分の仕事を振り返って良かったことを誉めてあげてください。そしてまた自分で自分を誉めてあげられる仕事ができるように頑張ってください。

お問い合わせ
 株式会社日刊建設通信新聞社 カナリヤ通信編集部
 TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730
 ご意見・ご感想、プレゼントの応募は
 canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。
 「カナリヤ通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。

台風13号の接近が予想されています。当日午前7時にいずれかの特別警報もしくは暴風警報が発表されている場合は中止となることがあります。最終的な決定はウェブサイト、SNS等でお知らせします。